

ほうでえ～

ありゃ～のう

周防大島町の話題



▲光センサーで糖度・酸度などが測られ選別されています

やまぐちブランドゆめほっぺ選果はじめ

ゆめほっぺの選果が3月14日、久賀のJA山口大島柑橘選果場で始まりました。

ゆめほっぺの品種名はせとみで、せとみは県柑きつ振興センターが清見と吉浦ポンカンを交配して誕生した、県のオリジナル柑橘です。そのせとみの中でも糖度13・5度以上、酸度1・35%以下のものをゆめほっぺとして出荷しており「やまぐちブランド」として登録されています。

今年は1月の寒波の影響が心配されましたが、生産者の努力により被害を受けることなく、質・量とも昨年を大きく上回り、今季は約300トンのせとみを荷受け予定で、そのうちの6割以上がゆめほっぺとして出荷される予定です。

また、JA山口大島では、町内の小中学生にふるさとの特産品の味を知っておいでもらいたいと、3月22日、児童生徒に1つずつ約800個のゆめほっぺがプレゼントされ、同日の給食で試食されました。



代表して久賀小学校で贈呈式が行われました

瀬戸公園に桜を寄贈

大島中央ライオンズクラブが、大島大橋たもと大多満根神社の境内周辺の瀬戸公園に桜と梅の木を寄贈され、3月25日、植樹式が行われました。

これは、瀬戸公園の桜の木が樹勢が衰え始めていることを受けて、瀬戸公園に華やぎを取り戻そうと、クラブ結成40年の節目に企画されたもので、しだれ桜7本、梅の木2本の計9本が植えられました。

木は3メートルほどの高さのもので、国道からもよく見えるところに植えられており、桜の名所に新たな楽しみが加わりました。



▶関係者らの手により丁寧に土が盛られました。



青年海外協力隊でザンビアへ

▶「アフリカに身を置いていろいろと見えてくると思う。視野を広げて来たい」と西本さん(写真左)

周防大島チャンネルの制作スタッフとして活躍し、総務大臣表彰を受賞したプロモーション動画「回帰」の制作にもあたられた西本和照さん(日見)が青年海外協力隊員として、ザンビアへ派遣されることになり、出発を控えた3月16日、町長を表敬訪問されました。ザンビアは、アフリカ南部の内陸国で、西本さんは首都ルサカにあるナシヨナルアグリカルチャー・インフォメーションサービスで2年間、農業普及のための映像制作の指導をされます。